



上は、2枚とも昭和39年（1964）に開催された東京オリンピックの聖火リレーの写真で、左は赤谷湖、右は湯宿温泉で撮影されたものです。

左下は群馬県の点火式です。点火しているのは神田群馬県知事です。

聖火リレーは、10月4日に新潟県から三国峠を越えて群馬県入りしました。その後、湯宿温泉と県庁で1泊ずつした後、6日に新町を通過して埼玉県に引き継がれ、10日の開会式に向かってリレーされていきました。聖火リレーが通過する沿道では、多くの人々が旗や横断幕、アーチを掲げて歓迎しました。

右下は、東京オリンピックのレスリング・ハンタム級に出場した上武洋次郎選手です。館林高校出身の上武選手は、10月14日に行われた決勝戦で優勝、金メダルを獲得しました。オリンピックには、群馬県からは上武選手を含め5人の選手が出場し、活躍しました。